

無料です

# 在宅療養の コンシェルジュ

ご本人、そしてご家族、ケアマネジャー、介護ヘルパーなど、在宅療養を支えるみなさんへ

## 介助方法の指導



本人の状況に合わせて、介護の負担を軽減するための方法を指導します。

## 生活環境の改善



本人・家族の思いを整理し、住み慣れた地域で暮らすための支援にあたります。

## リハビリ指導



本人の力を引き出すリハビリのポイントを指導します。

## 福祉機器の導入サポート



福祉機器を適切に使いこなすことができるよう、環境の適合を踏まえた導入をサポートします。

「生活の質」を向上させる  
在宅療養について  
かかりつけ医  
リハビリテーション医  
在宅リハビリサポートコーディネーター\*と  
一緒に考えませんか？

※在宅リハビリサポートコーディネーター：  
所定の研修を受け、墨田区に登録された理学療法士や  
作業療法士、言語聴覚士

高齢者の一人暮らしや病気やケガで入院されたあとなど、生活のしづらさを感じていらっしゃいませんか。リハビリ医療のノウハウは在宅療養の質を上げることがわかっています。

わたしたちリハビリ専門職はその方の残存能力（出来ること）に注目し、それを生かして自分で出来ることを増やすお手伝い出来ます。それは介護負担の軽減、そしてその方の最高のQOL（生活の質）を考えることにつながります。



「何かできないかな」  
リハビリ的な視点で  
その方らしい生活を  
応援します。

事務局  
東京都リハビリテーション病院  
医療福祉連携室長  
堀田富士子 先生

# 在宅療養リハビリサポート事業とは

ご本人、ご家族だけでなく、かかりつけ医や介護スタッフからの相談もOKです！

在宅リハビリサポートコーディネーターによる訪問サポートが無料で受けられる区の事業です。生活環境の改善、介助方法の指導、福祉機器の導入サポートなどのサービスが受けられます。

## 対象

墨田区にお住まいの方で、要介護状態（要介護3～5）にある方  
※基本的に、介護保険や医療保険でのリハビリを優先していただきます。

## 利用の流れ



## 困った!

## Before

## 事例紹介

## After

## 改善

### 介助量が増えて 介護者の腰痛が悪化

デイサービススタッフの2人で行っていたベッドから車椅子への移乗を、妻は一人で頑張っています。最近、妻の腰痛が悪化し始めています。



### 一人の軽い介助で できるように!

統一した介助方法を家族とデイサービススタッフに指導。本人の力を生かすことで、一人の軽い介助で車椅子への移乗ができるようになり、妻の腰痛も落ち着きました。



### 慣れた畳の生活で 福祉機器導入に抵抗感

ベッドと昇降椅子の利用を勧めましたが、ご家族に、なかなか理解を得られません。畳と布団の生活で、家族の介護負担も大きくなっています。



### ていねいな説得で 意識改革ができました

福祉機器のお試しをしたり、介護する娘さんの気持ちを整理することで、導入にふみ切りました。今では「介護が楽になった」と娘さんも大喜びです。



### 進行性の疾患で機能低下、 変化への対応が難しい

これまでできていた呼び鈴のスイッチが押せなくなりました。本人も家族も気が休まりません。



### ちょっとした工夫で 不安解消!

スイッチを押せるように、スイッチの型を替え、設置場所も変更しました。呼びたいときに押せて、ご家族を呼べるようになりました。



申し込み  
問い合わせ

墨田区在宅リハビリテーション支援事業事務局  
東京都リハビリテーション病院  
墨田区堤通 2-14-1

☎03-3616-8399 (専用電話)  
月～金曜日 午前8:30～午後5:15  
(祝日・年末年始を除く)